

Get Heart

No.27
2004.8



人物紹介

「みんなの力で未来を守る」

奥森 隆夫さん

学校紹介

「ホタルの生育を通じて環境を学ぶ」

岸本小学校

日野川「もの知りさんについてみよう16」

瀬と淵 ～川が作るいろいろな表情～

川に親しむ

「みんなの力で未来を守る」

おもしろ
奥森 隆夫 さん

未来守りネットワーク理事長



奥森 隆夫さん

奥森さんはこのほど、鳥取西部圏域や中海圏域に対して環境の浄化活動を展開していくこと、特定非営利活動（NPO）法人を設立されました。奥森さんの名刺には、緑にあふれた山から流れる清らかな川と、魚がうろちそうに飛び回っている海が、かもしらぬイラストで描かれています。これは、山から川へ、そして海へという水の流れを大切にしていくという願いからのものだそうです。

今回の取り組みについて、奥森さんは圏域の環境浄化を目的として3つの構想を描いています。

まず一つは「川の浄化」。圏域にやさしい物流加工拠やせつげんを積極的に活用することを一般家庭にPRして、川へと流れる排水をきれいにしていくという取り組みです。

もう一つは、地帯の人々が水生物と親しむことが出来る「親水広場の整備」。地帯守りの川の流水魚「アカヒレタビラ」をはじめとした、さまざまな水生物の生育できる環境保護地域を整備して、子どもたちをはじめ地帯の人々が気軽に自然環境と生物に接することができるようにしようという取り組みです。

そして最後は、「親水村を活用した美保湾の景観の整備」。これは、「海の中に、漁がたくさん振り回った親水村を建てて、

魚が成育できる段々畑を作ろうという仕掛けプロジェクトです」と奥森さんは説明しています。圏域の山から伐採した親水村に特殊な加工を施して海岸にたくさん建て、その湾りにアマモやコアマモといった海藻類を繁殖させて魚の産卵場や稚魚の生育場を整備しようというものです。

「美保湾にすむ魚の量を増やすことで、地域農業の活性化につながるようにしたい」という願いを込めた取り組みです。また、アマモやコアマモには光合成の働きで二酸化炭素を分解する力があるということから、「空気中の二酸化炭素量を削減する効果も期待できる」とうです。

二つこのいずれもが「10年以上はかかる一大プロジェクトになる」と語る奥森さん。「実際には、いろいろな課題もあるけれども、ひとつひとつを住民や企業、行政といった圏域みんなの力で解決していけるようになってほしい」と決意を語っています。

名称の「未来守り」（たきもり）とは、「未来」を「守る」こと、「関人（たきもり）」とを組み合わせた造語です。

「私たちの世代が汚してしまった環境がこれ以上悪くならないようにし、そして次の世代にはきれいな状態で残していかなければならない、という使命感」からのネーミングだそうです。

「環境がきれいになれば人が集まり、産業が生まれます。過疎化の解消や地域活性化につながる活動をしていきたいですね」と抱負を語っておられました。



海の中に流すための加工材の一つ、海苔のアマモやコアマモの加工品が注ぎ込まれた親水村の断面図です。



鳥



●カモメ類

カモメの仲間には、オリーブ色をした魚を食べてくれるワンドリフコーワや、オオノボリ、カササギ、コノボリ、シベリ、ツルブネなど様々な魚を食べてくれるものが多くいます。カモメは、フィリピンなどで育てられています。

日野川の周辺にはカモメ、ツルブネ、コノボリ、カササギ、オオノボリなどが多くその数は3000羽以上にもなります。1ヶ所集まると大騒ぎで、浪まると水たまりもあがるため多くの生き物が手荒れしています。そのため、物に多くのかたまりの生息する環境ではあつちです。

撮影：(左) 米子市立川島 早稲田、(右) 米子市立川島 新野 登久志

魚



●鮎

鮎はアユ科の魚である。東京、シリアでよく見られるが、特に江戸川で多く見られる。江戸川には北河原の「アユ」で有名なところがある。

江戸川「アユ」で、地方から多くのアユが運ばれて来ますが、同じ魚は多くありません。

しかし、東京の江戸川には多く「青魚」(青魚)、「アユ」(アユ)など多量に産出することから、人々の生活に影響し、暮らしでよい魚だということになります。

ふるさとをのり見つめて... 第7回 作品募集 日野川 フォトコンテスト

■応募要項

応募対象作品

日野川流域内の河川

テーマ

「ふるさとをのり見つめて」

応募資格

だれでも応募できます。

●公募期間/平成16年9月10日(日)まで

●募集場所/平成16年11月号まで

(入賞者に通知済み)

●賞状/平成16年12月15日(日)の朝、当館まで

■応募部門

一般Aの部—賞状を1張出す

一般Bの部—賞状に写そう

小・中学生の部—みんなでチャレンジ

■応募先

国土交通省日野川河川事務所「日野川フォトコンテスト」係
〒689-3537 米子市吉吉千678 TEL:(0859) 27-5484(代)

主催/日野川へののりを守る会

国土交通省日野川河川事務所(兵庫県川辺郡日野町、日野川河川事務所)

米子市立川島、米子市立川島、早稲田、早稲田、早稲田、早稲田、早稲田、早稲田

写真/ (左) 米子市立川島、新野 登久志、(右) 米子市立川島、新野 登久志



水遊びのオツチング

～表紙「小学生のカヌー教室」～

カヌーの練習をすることを通じて、日野川の豊かな自然にふれ、郷土に対する理解を深めてください。

表紙写真：日野川カヌー教室の様子（左） 表紙：日野川カヌー教室の様子（右）

日野川流域 ものい手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・16

瀬と淵 ～川が作るいろいろな表情～

みなさんは「瀬」「淵」という言葉を聞いたことがありますか？

川は普通まっすぐには流れず、曲がりくねりながら流れています。この曲がったところでは、瀬（早瀬）→淵→瀬（平瀬）のパターンが繰り返され、川の持ついろいろな表情（地形）を見ることが出来ます。ひとつひとつ簡単に説明しましょう！



水子島古河

○瀬

一般的に広くて、流れが速いところを「瀬」といいます。流れが特に速く白濁の立っているところを「早瀬」、白濁の立っていないところを「平瀬」といいます。瀬は、水深が浅いので、川底の石によく日が当たって藻が多くつきます。藻を食べる川魚や、その川魚を食べる魚が棲みます。



江戸町 弘法が淵

○淵

一般的に深くて、川の流れが穏やかなところを「淵」といいます。深いので、他の場所よりも水底の色が深く見えます。淵では魚が休息したり、隠れたりします。また、稚魚が育つ場所にもなります。



水子島十日市

○ワンド

川ぞいにある大きな水たまりの部分「ワンド」といいます。川の本流の流れから外れた場所にあるので、流れがほとんど無く、魚の産卵場所や稚魚などの小さな生き物のすみかになります。また、洪水の時などには川に棲む生物の避難場所にもなります。



INFORMATION

イベントあんない



「江尾十七夜」

平成16年8月17日(水)
問い合わせ先→江尾町観光物産協会
TEL.0859-75-2500

「オールジャパン ジュニアトライアスロンin岸本」

平成16年8月22日(日)
問い合わせ先→オールジャパンジュニア
トライアスロンin岸本の委員会
TEL.0859-68-3778

「大山鳥天狗まつり」

平成16年8月29日(日)
問い合わせ先→大山町観光協会
TEL.0859-52-2502

「親子で楽しむ「わらべうた」」

平成16年8月22日(日)
問い合わせ先→高口町桜葉幼稚園
TEL.0859-63-0391

「ミュージックキャンプ in日南2004」

平成16年8月27日(土)～29日(日)
問い合わせ先→日南町総合文化センター
TEL.0859-77-1113

「城山フェスティバル」

平成16年10月24日(日)～11月3日(木)
問い合わせ先→米子市観光協会
TEL.0859-37-2311

Get heart プレゼントクイズ

問題：○○には何が入るでしょうか？

7月9日10日

岸本小学校の子どもたちが育てているのは、

○○の幼虫です。ヒント：学習の学校紹介は岸本小学校ホタルクラブです。

プレゼントをご希望の方は、右欄の如く、クイズの答え、住所・名前・学年・電話番号、Get heartに関するご感想を記入の上、下記までご郵下下さい。抽選にて、5名様に商品をさしあげます。
※当選者の発表は、発表を持ってからさせていただきます。

〒689-3537 米子市古倉千678

富士交通会 日野川河川事務所 グットハート クイズ係

編集後記

つめたい雨がこころを洗い清らくなりました。さて、Get heartも27号をむかえ、今回より仕度も一新いたしました。新巻の読みやすい印刷を目標として編集ののびてまいりますので、今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

あなたのこころを

GET HEART

GET HEART 第27号

発行
・日野川への思いを語る会

編集事務局
・富士交通会日野川河川事務所

〒689-3537
米子市古倉千678
TEL (0859) 27-5484

ホームページアドレス <http://www.cgr.mlt.go.jp/hinogawa>

「心」で次に
読め、感じ、想像
して楽しむ。そ
の心は、何と
も違う。

